

福祉の まじり

2018
No. 179



目次

- 特集1 地域支え合い活動創出事業 P.2~3
- 特集2 京都市北部山間地域における
地域福祉を考える P.4~5
- 各部署の取組みを紹介 P.6~11
- 決算報告・事業計画 P.12

下京区地域支え合い活動創出コーディネーターの愛甲さんは、シニア世代の男性の社会参加や仲間づくりを応援したいと地域支え合い活動入門講座「男塾」を企画。「男塾」では珈琲の美味しい入れ方や写真の上手な撮り方、地域活動への参加をテーマとした様々な講座を行っています。今回のテーマは「料理」。愛甲コーディネーターは、「講座を受講された方からグループが生まれ、珈琲を入れるボランティア活動が始まりました。これからも地域でどんどん活躍していただければ」と思いを語ります。

(地域支え合い活動創出コーディネーターについて、詳しくは2ページ)



活動
レポート

生活支援サービス創出の企画・支援

生活支援に関する地域の課題の解決に向けて、地域団体、ボランティア団体、民間企業、専門職の方々と、地域支え合い活動調整会議を開催して、活動やサービスの創出を支援しています。

生活支援の創出

右京区

コーディネーターは、ひとり暮らしの「ちょっとした困りごと」に対応したい地域団体と協議を重ね、窓拭き等の活動がスタートしました。



買い物支援サービスの創出

西京区

近隣のスーパーがなくなり買い物弱者の課題が浮かび上がり、コーディネーターが企業や地域団体と話し合いを重ねた結果、移動販売車の誘致が実現しました。



生活支援の担い手養成・活動支援

地域支え合い活動入門講座の開催

高齢者向けのボランティア等の活動を希望される方に対して行政区ごとに入門講座を開催し、受講者が活動を始められるようサポートしています。



上京区

生活支援に関する基礎知識や活動に役立つ情報を提供



下京区

男性の地域デビューを応援するため珈琲講座等を開催し、男塾グループを結成

関係者のネットワーク化

居場所運営者の情報交換会の開催

運営者同士の情報共有や、共通する運営の困りごとについて話し合い、課題を解決する場を行政区ごとに運営しています。



左京区

居場所を運営する地域団体、ボランティア団体、福祉施設など多様な運営者による意見交換



山科区

活動の活性化を目的とした体験プログラムを運営者同士で実施

地域のニーズと資源の見える化

コーディネーターが把握した地域の資源をリストやマップにして、住民や関係者の皆様に情報を届けています。



新しく活動をはじめるときの手引きを発行

「高齢者にやさしいみんなの居場所」

高齢者をはじめ誰もが気軽に立ち寄ることができ、交流することで誰かにつながっていることを実感できる居場所が広がるよう、手引きを作成しました。



京都市社協 居場所の手引き



こちらからダウンロードできます。

地域でなにか役立てることはないかな？

地域で支え合いの活動をしてみたい！

高齢者が気軽に集える居場所を作りたいな...

ちょっとした困りごとに対する支援があつたらなあ...



京都市 地域支え合い活動創出事業

ひとり暮らしの高齢者や支援を必要とされる高齢者が増加するなか、地域における支え合いの仕組みの構築に向けて、平成28年5月から「地域支え合い活動創出コーディネーター」を各区社会福祉協議会に配置しています。

事業開始から2年が経過し、地域、ボランティア団体、民間企業、専門職などの多様な主体と地域で高齢者を支えていくために必要な生活支援サービスの創出や担い手養成、ネットワークの構築等に取り組んでいます。

コーディネーターが活動で大切にしていることは「協働」による取組です。これからも、共通の課題や目的のために、お互いをよく知り、お互いの力が発揮できるよう社協の総合力とネットワークを活かして事業を推進していきます。

支え合い活動の推進役として
各区に地域支え合い活動創出コーディネーターを配置

コーディネーターの役割

地域で求められる支援の調査や地域にあるサービスの把握

生活支援の担い手の養成・活動支援



地域づくりに関する意見交換等の実施、ネットワークづくり

生活支援サービス創出の企画・支援

あつたらいいな！を一緒に作りましょう

ご存知のサービス情報を教えてください



京都市北部 山間地域における 地域福祉を考える

命を守る防災 暮らしを支えるサービス 地域をつなぐ福祉活動



京都市北部の山間地域は、特に人口減少や高齢化が進み、災害の発生、介護や生活支援ニーズへの対応、地域活動の担い手不足といった課題を抱えています。そのような中、福祉の視点から地域の課題に向き合い、解決に向けた様々な地域福祉活動が進められています。

取組紹介地域の統計データ

(平成27年国勢調査より)

区	学区	人口	世帯数	高齢化率
北区	小野郷	239	118	61.3%
	中川	293	132	50.5%
	雲ヶ畑	145	64	49.6%
左京区	別所	110	67	63.5%
	花脊	134	40	50.3%
	広河原	97	41	39.1%
右京区	けいはく 京北	5,127	1,967	42.0%
京都市(参考)		1,475,183	705,142	26.7%

北区 小野郷・中川・雲ヶ畑 北山3学区共通課題と取組について

自然豊かな北山3学区では、住民の平均年齢が60歳を超え、少子高齢化、人口減少が大きな課題となっています。そのような中、それぞれの学区で地域課題を協議し、関係機関との協力体制を築きながら、熱心に居場所づくり活動に取り組まれています。

●協同の輪を広げて 居場所づくり活動を展開

小野郷学区では念願であった福祉施設を誘致することができ、中川学区との共催で気軽に足を運べるあたたかなサロンができました。また雲ヶ畑学区においても、福祉事業所等の協力を得て、会場への送迎サービスのオンをオープンすることができました。またこうした取り組みにおいて、地元の大生たちとの交流が多いのも北区の間地域の特徴となっています。

●台風被害を教訓に 見守り活動の充実へ

そのような中、昨年度、北山3学区では台風による倒木被害



3学区合同地域ケア会議



3学区の共通課題の洗い出し

による停電に見舞われました。交通、通信の遮断による孤立と、オール電化に伴い暖房・調理の手段がなくなるという事態に大混乱。携帯の電波が通じないところがある、土砂崩れや倒木で道が遮断されると身動きできない、どこでどのように情報収集や伝達をするのか等、災害時の対応についての課題が浮き彫りとなりました。そこで改めて山間地域の共通課題について検討していき、3学区合同地域ケア会議を定例開催することとなりました。防災を切り口にした協議が、日常での見守りや支え合い活動の充実につながっていくとしています。

左京区

別所・花脊・広河原 ホームヘルプサービス導入への歩みと課題



山に囲まれた左京

左京区北部地域は、豊かな自然環境に恵まれた地域であり、以前は林業が盛んでした。しかし、国産林の需要が低下し、経済的に地域に定住することが難しい状況から人口減少が進み、現在住民の2人に1人が高齢者となっています。今後、「地域の高齢者世代の生活をどのように支え、若い世代が地域に定住するにはどうしたらよいか」地域の大きな課題です。

●ホームヘルプサービス導入の実現

この地域ではホームヘルプサービス提供事業者がなく、サービス利用ができない状況であり、住民の間では、「一人に迷惑をかけたくない、自分で頑張らなければ入院する」という思いが根強くありました。しかし、「高齢サポート左京北」等と協力した個別の聞き取りの中で、住民

から「実際どんなサービスを自分たちや家族が利用することができるのか」といった声が出始めました。そこで、住民向けの勉強会を開くと、訪問介護への理解が広がり、利用へのニーズが高まりました。そして、京都福祉サービス協会がそれを受けてヘルパー派遣を実施しました。

●住み続けられる地域へ

多くの住民は、「限界集落」化してきていても「住み慣れた地域で暮らし続けたい」との強い思いがあります。ホームヘルプサービスの利用についても、利用日に制限がある等課題は多く、今後も関係機関との連携のもと、北部へのサービス提供事業者を増やす等、継続したホームヘルプサービスの利用を実現することや、若者が住みやすい条件づくりを住民と行政等と検討していくことが必要です。



ヘルパー訪問の様子

右京区

京北地域 住民同士のつながりを築く地域福祉活動

京北地域社協(学区社協)では、平成25年度の設立から、「布団の丸洗い乾燥」、「ふれあい給食」、「ボランティアスクール」等の地域福祉活動に取り組んできました。

●賛助会員の募集活動をつうじた啓発

昨年度、地域社協として初めて取り組んだ右京区社協賛助会員の募集活動では、主な事業活動や会員募集についてこれまで区社協京北事務所が行っていたことから、住民の皆さんから「区社協京北事務所と地域社協の違いは?」、「会費の集め方がなぜ変わったの?」との声がある一方、「地域社協が取り組む住民主体の地域福祉活動は大切」という声を多数いただき、こ



京北ふれあいサロンの様子

ろまでもあまり住民の間で知られていなかった社協活動の啓発につながりました。

●豊かな人のつながりで
地域福祉活動の充実を

京北地域は高齢化率が40%を超え、地域全体で高齢者やそのくらしを支えるしくみや活動が喫緊の課題です。京北自治振興会では、伏見区砂川学区自治連合会、龍谷大学短期大学部社会活動センターとの連携による姉妹交流「さと・まろコラボ」に参画し、都市部と山間部、お互いの地域の良さを活かした魅力ある地域づくりに取り組んでいます。児童交流会の開催等をつうじて、住民同士の交流、つながりを広げていきます。地域社協としては、こうした取組を推進する自治振興会等、地域団体や関係機関との連携・協力を基盤に、京北地域の豊かな人のつながりにより、住民同士が声をかけあい、くらしの困りごとに気づき支えあえる地域福祉活動に取り組んでいきます。



「京都市の社協あり方構想検討委員会」を設置

～住民主体に根ざした、これからの社協活動の方向性を検討～



国では「我が事・丸ごと」の「地域共生社会」の実現をめざす新たな法改正が進められ、あらためて社会福祉協議会に対する期待が増すなか、これまで積み上げてきた実践を踏まえて「住民主体」に根ざした今後の活動の方向性を示すことが求められています。

本会では佛教大学の岡崎祐司教授を委員長とする「京都市の社協あり方構想検討委員会」を設置し、京都市の社協の役割や機能を明確にして、時代に即した活動の発展・強化の検討を進めることになりました。

6月15日(金)に開催された第1回目の検討委員会では、検討の枠組みやこれまでの取組の総括等について議論を行いました。引き続き検討作業を進め、年度末を目途に「あり方構想」を取りまとめる予定です。



第8回

福祉ボランティア社協フェスタ

共につくるうきょうの絆

2018年3月4日(日) ひと・まち交流館 京都

うららかな春の陽気に恵まれた3月4日、子ども・子育て支援をテーマに第8回「福祉ボランティア・社協フェスタ」が「ひと・まち交流館 京都」で開催されました。当日は、約2500人のお子様連れのご家族や高齢者の皆さんが来場。各福祉団体・施設が提供するイベントを楽しみながら交流を深め、福祉や災害時に備える大切さを学びました。

子育て支援の充実に向けて

大会議室では、大阪市西成区でこどもの権利を守るための「こどもの里」を記録したドキュメンタリー映画『さとにきたらええねん』を午前中に上映し、認定NPO法人こどもの里理事長の庄保共子さんは、「子どもが人を信じる力を養い、差別や貧困に左右されることなく、将来に夢と希望を持てるよつな環境をつくりたい」と熱い思いを語りました。

午後からの式典では、村井信夫・市社協会長は「子育てサロンや子どもの居場所づくりを充実させたい」と意気込みを述べました。続いて、門川大作京都市長は「皆さんのお力添えをいた



だきながら、貧困家庭の子育てを支援し、一人ひとりの個性が開花する世の中にしたい」とあいさつ。寺田一博京都市会議長は、手話を交えて「社会や環境の変化をとらえながら市民が支える福祉のまちづくりに取り組みたい」と語りました。

福祉の絆づくり事業贈呈の後は、厚生労働省子ども家庭局子育て支援課の依田秀任児童環境づくり専門官が登場。「子ども・若者をめぐる現状と課題」をテーマに、子どもと若者をとりまく問題とその解決に向けた取組について語っていただきました。

市内ボランティア団体や福祉施設が参加

市社協、福祉ボランティアに関わる



「支援拒否」を考える

～地域あんしん支援員設置事業の取り組みから～

本会では京都市の委託を受け、「社会的孤立」や「制度の狭間」等の複合的な課題を抱える方々に対し、継続して寄り添いながら関係機関や地域住民との連携のもと必要な支援に結びつける「地域あんしん支援員設置事業」に取り組んでいます。平成26年の事業開始以降、のべ148のケース(29年度末実績)を支援してきました。

実はこのうち約半数の支援対象者が、健康や生活環境の課題をかかえ福祉的な支援が必要であるにもかかわらず、「構わないでほしい」「支援は受けたくない」と支援を拒否する人です。訪問しても扉も開けてもらえなかったり、「迷惑だ」と追い返されることもあります。

こうした人を、「わがままだ」「身勝手だ」と批判することもできません。しかし時間をかけて寄り添う中で、その人の事情や思いが見えることがあります。判断能力の低下、経済的な課題、家族の喪失などが絡み合い、強い不安を抱いている、大きな挫折体験や社会経験の少なから、人と関わることに自信が持てなかったり、高齢や障害により出来ないことが増えている現実が受け入れられず、自分を守ろうと頑なになったり…。

ぽつりぽつりと話されるこつた思いに寄り添い、一緒に解きほぐし、「困りごと」や「不安」を解消する支援へとつながるのが地域あんしん支援員(「ミニティンソーシャルワーカー」の役割です)。

こつして支援が動き始めた時、変わるこつする支援対象者に地域の皆さんからかけていた「く」「が」は「ん」は「ん」の声は、何物にもかえがたい後押しとなっています。



▲介護ロボットと会話する来場者

楽しみながら防災知識が身につく



「イザ！カエルキャラバン！」は親子連れで大盛況。毎年、「わくわく☆



認定NPO法人こどもの里 庄保共子理事長



▲特別企画「さとにきたらええねん」上映会&「こどもの里」 庄保理事長からのメッセージ

今年度の開催は…

2018年10月14日(日)

ひと・まち交流館 京都

を予定しています

皆様のご来場をお待ちしております!

地域あんしん支援員設置事業の支援実績 (平成29年度末現在)			
地域あんしん支援員の配置 11区全区に12名を配置	支援ケース数 148ケース	寄り添い支援の回数 のべ11,157回 (1ケース平均) 75.4回	サービス利用の拒否、ごみの堆積などの課題を改善して支援終了 57ケース





平成31年3月 西京区榎原に新規施設を開設します

平成31年3月、西京区榎原百々ヶ池にて新規施設の開設を予定しています。施設は1階に西京区社会福祉協議会事務所、小規模多機能居宅介護、2階にはグループホーム、ケアプランセンター、3階はグループホームを設置します。また、2階には地域住民の方が利用できる地域交流スペースも設置します。

小規模多機能居宅介護は、地域の高齢者の心身状態や希望に応じて、「通い」(デイ)を中心に「訪問」、「泊り」を組み合わせたサービスを提供します。グループホームでは、少人数の認知症の高齢者がそれぞれの個室を持ち、家庭的な雰囲気の中で共同生活を行います。地域住民の方々と交流のもとで家庭的で落ち着いた雰囲気の中で生活を送ることに、より、認知症状の進行を穏やかにし、自立した共同生活を送ることをめざします。

新規施設では、介護保険サービスの提供だけでなく、併設の西京区社会福祉協議会との連携や地域交流スペースの活用により地域ニーズに応えるモデル的な取組の検討とその実現をめざします。



地域に開かれた 児童館に

本会が運営している児童館では、学区協議、民生児童委員協議会、自治会等の地域団体や、学校、利用者組織で構成する運営協力会の設置を進め、地域の声を運営に反映させるとともに、世代間交流や地域交流事業の実施により、地域福祉活動を支援する児童館を目指しています。

運営協力会の会議の場では、児童館の役割や活動内容、子ども・子育て家庭の利用状況や課題等児童館の全体像を地域団体や学校に理解して頂く場となります。また、一堂に会することにより、児童館が地域団体の活動内容や団体相互の関係性、地域の課題等、地域全体をトータルに理解することができます。児童館が地域に協力を求めるだけでなく、児童館への率直な意見や要望を聴き、地域から求められていることを把握し、児童館運営に活かすことにより、地域に開かれ、地域に必要な児童館となることができると考えています。

現在、本会の児童館34館中、23館に運営協力会が設置されており、今後も設置を目指していきたいと考えており、今後も、社協が運営する児童館として、地域の福祉活動に貢献していきたいと思っています。



児童館祭りで、大道芸を見てドキドキしています



フィナーレは地域みんなでジェンガを踊りました

貸会議室 | ホール 等のご利用に!

ラボール京都

多様なニーズに対応できる大ホールと中小会議室15室(14名~342名)を2,376円~(2時間利用)とリーズナブルな価格で! 趣味の会や会議・研修などお気軽にご利用ください。

四条御前通バス停すぐ
西院駅 徒歩1分

TEL 075-801-5311

ラボール京都

京都市中京区壬生仙念町30-2(四条御前西入)
ラボール京都(公益財団法人 京都労働者総合会館)

UR URテナントは「子育て支援事業」を応援しています!

- ♥ 保育園・幼稚園・小規模保育 ♥ 学童保育・放課後デイサービス
- ♥ ファミリーケアステーション・親子カフェ・コミュニティスペース
- ♥ 児童発達支援 など

子育て支援事業者への賃貸料優遇制度

賃貸料最大 50%OFF

※申込後の審査により、賃貸料が50%になる事業かどうか判断させていただきます。

他にも メリットいっぱい

- merit-2 権利金・礼金・手数料不要
- merit-3 開店までの準備期間も安心 工事前の賃貸料無料
- merit-4 面倒な手続きいらず 保証人不要!
- merit-5 大型団地内だから 潜在顧客が豊富

詳しい内容や資料請求はこちらから ▶ URテナント 関西 検索

UR都市機構 独立行政法人 都市再生機構 西日本支社 住宅経営部 経営課 〒536-8550 大阪市城東区森之宮1-6-85 TEL.06-6969-9044

遺言書作成や相続でお困りの方へ

遺言・相続センター

まずはお電話を!!

☎ 075-255-4990

- 相談料 無料(1回20分)
- 受付 平日(月~金) 午後1時~3時30分
申込受付後、折り返し弁護士が申込者へお電話します。

無料で手紙な
電話
法律相談

京都弁護士会
KYOTO BAR ASSOCIATION



老人福祉センターを活躍の場に！

市内にお住まいの60歳以上の方が利用できる老人福祉センター16か所では、介護予防事業や教養講座等人気があります。特に卓球やフラダンス、茶

道や大正琴など様々な同好会（サークル活動）が活発で、1か所平均31団体がセンターを拠点に活動しています。その趣味を活かし地域や施設へのボランティア活動も行っています。

目指し、高齢者も担い手として活躍いただき、互いに支え合い生涯を通じて健やかな生活を送ることができるようサポートしていきます。



いきいきサロンサポーターがレクリエーションの進行中。

また、10か所のセンターでは、いきいきサロン（ひとり暮らしや家に閉じこもりがちの方対象）を毎週1回登録制で実施しており、新たなボランティア活動として、長寿すこやかセンターにおいて研修を実施し、15名の「いきいきサロンサポーター」が誕生しました。そして平成30年4月からサポーターとしての活動が始まっており、体操やレクリエーション等を担当いただいています。



下京老人福祉センターいきいきサロンの様子。皆さん思わず笑顔です。



福祉用具展示コーナー (ひとまち交流館1階)の活用術

「福祉用具展示コーナー」では、福祉用具を実際に「見て」「触れて」「試して」いただけます。福祉用具を選択する時、カタログだけでなく使い勝手

を想像するのは難しくありませんか？また、ご利用者の生活を支えるために、福祉用具をもっと活用してみませんか？ここでは、福祉用具の選択や、使用方法

法・技術、介護に関わる相談を、専門の相談員がアドバイスします。

展示をしている福祉用具は、シミュレーションとして貸出しも行っています。実際に福祉用具を手にとることで、専門職として、ご利用者とともに、身体・環境・生活に福祉用具が適合しているかを考えていただくことができます。また、事業所の勉強会での利用や、福祉用具の導入を検討していただくなど、活用の幅は多岐に渡ります。

実際に、特別養護老人ホームや障害者福祉施設の職員の方が、当センターの専門職研修で使用した福祉用具を借りて、伝達講習をされている例もあります。研修で学んだことを他の職員と共有し、技術の向上やご利用者のよりよい生活の実現に役立てておられます。ぜひ、福祉用具展示コーナーをご活用ください。



福祉用具のシミュレーション貸出し

対象 社会福祉施設・団体の職員の方
 期間 1週間
 物品 すべての展示品が対象（規程あり）

運営 社会福祉研修・介護実習普及センター
 開館 月曜日～金曜日（祝日・休館日を除く）9時～16時30分
 問合せ先 075-354-8772
 展示品 ベッドや車いす、杖、靴など約550点

ご利用ください！ **ひと・まち交流館 京都**

ひと・まち交流館 京都は、6月で開館15周年を迎えることができ、これまで非常に多くの市民の皆様にご利用いただきました。これからも市民活動を始めとするさまざまな「人と人をつなぐ」交流や研修の場として会議室をご利用いただけますよう、職員一同お待ちしております。

会議室の予約のご相談は…☎075-354-8719

野鳥観察やものづくり体験を！ **桂坂野鳥遊園**

西京区・桂坂の山裾のすばらしい自然環境に恵まれた桂坂野鳥遊園は、野鳥の観察ができる「観鳥楼」とものづくりを通じて子どもたちの育成支援を目的とする「ものづくり体験館」があります。

親子で四季を感じさせてくれる山々に、ぜひ足をお運びください。

詳細は… **桂坂野鳥遊園**

福祉事業を始めるなら 賠償責任保険は必須です！

福祉事業者総合補償制度「まごころワイド」をおすすめします！

充実の賠償責任補償制度、安価な傷害見舞金補償制度など必要なプランを組み合わせでご加入いただけます。

詳しい補償内容はこちらまで
 福祉の保険「まごころワイド」取扱代理店
 京都の総合保険代理店 **SRM 株式会社 エスアールエム**
 専用TEL **075-822-8613**
 福祉の保険ホームページ **www.srm-net.co.jp/**

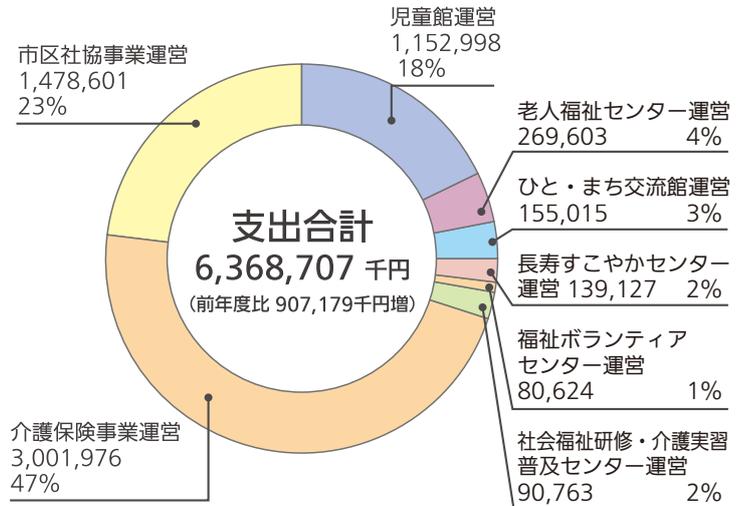
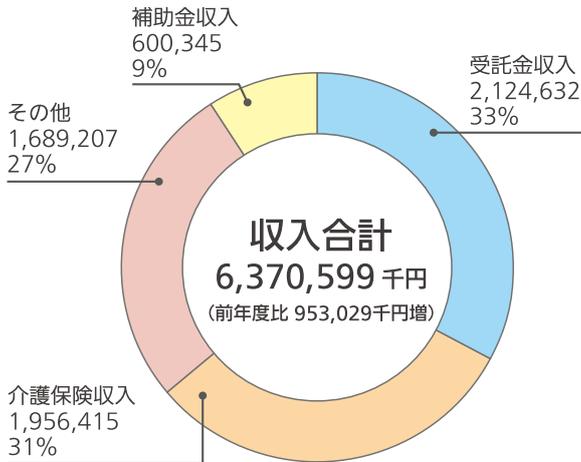
引受保険会社：三井住友海上火災保険株式会社
 この広告は保険の特徴を説明したものです。詳しくは商品パンフレットをご覧ください。

ボランティア活動には「ボランティア保険」イベントを開催される際には「福祉行事保険」も併せてご利用ください。

平成29年度 決算報告

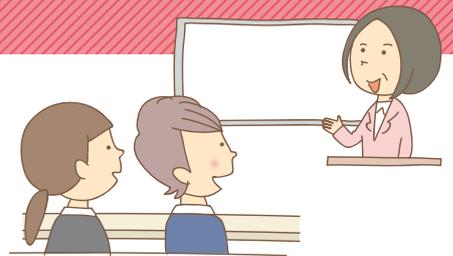
(単位：千円)

※事業の詳しい内容や決算の詳細は、本会ホームページをご覧ください。



平成30年度 事業計画

平成30年度は、既存事業の充実に努めるとともに、市・区・学区社協の三層の連携と、民生委員をはじめ関係機関、団体、施設等との協働のもと「人に優しく、災害に強い、社協の総合力とネットワークを活かした福祉のコミュニティづくり」をめざして、以下の重点目標を推進していきます。



今後の京都市の社協のあり方構想の検討

- 市・区・学区の連携のもと、住民主体の地域福祉活動の発展をめざします
- 京都市地域福祉計画の策定に参画します

小規模多機能型施設等の開設と地域公益活動の推進

- モデル的な取組の検討とその実現に努めます
- 京都市社会福祉施設連絡協議会と連携した地域公益取組を促進します

法令遵守の徹底と効率的・効果的運営

- 会計監査人とともに内部会計監査を強化します
- 役職員一体でコンプライアンスを向上していきます
- 財務活動の抜本的な見直しを行います

将来を担う福祉人材の確保と育成

- 処遇条件の改善と働く環境を整備します
- 採用活動の強化と福祉人材の育成を進めます



179号 2018年7月31日発行

●発行/社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
TEL. (075) 354-8731 FAX. (075) 354-8736

Q 京都市社協 ホームページで京都市社協の活動を映像でご覧いただけます。携帯電話でもバーコードリーダーで右のQRコードを読んで簡単アクセス!



〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上/口上の梅湊町83番地の1 (河原町五条下る東側)「ひと・まち交流館 京都」

●発行人/村井信夫 ●編集人/芳賀正昭 ●編集協力/株式会社きかんしコム



京都市社会福祉協議会では、京都市における環境負荷の管理・低減の規格であるKESステップ2を認証取得し、環境負荷軽減に努めています。



この広報誌は一部共同募金の配分金で発行しています。

